

令和4年 第848回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年10月13日(木)		開会 15:30 閉会 16:25		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL			
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第847回教育委員会定例会会議録《承認》</p> <p>会議録署名人2名の選任</p> <p>第848回教育委員会定例会会議録署名委員選任《上田委員、桂田委員》</p> <p>2 報 告</p> <p>・報告第11号 小浜市教育委員会教育長の任命について《承認》</p> <p>教育長 この度、令和4年10月1日から市長の命を受け3期目の教育長として就任した。</p>					

令和4年 第848回小浜市教育委員会定例会 会議録

これまでの5年間を振り返ると、まだまだ道半ばの案件が多く、今まで以上に努力と研鑽を重ねてまいりたいと考えている。また、皆様方のお力添えをいただきながら教育長の職を全うしていきたいと思っている。

・報告第12号 諸般の報告 令和4年 9月16日～令和4年10月12日

行事予定 令和4年10月13日～令和4年11月30日《承認》

上田委員 11月13日開催予定の第67回嶺南駅伝競走大会のコースはどのようなになっているのか。

事務局 これまでは、小浜市スタート、敦賀市ゴールまたは、敦賀市スタート、小浜市ゴールというコースで行ってきたが、交通規制の関係で、小浜市、敦賀市ともに施設内での周回コースで行うことになった。今年度は、敦賀市の運動公園を周回するコースで開催する。

教育長 走行距離は変わるのか。

事務局 若干の変更はある。

事務局 会議資料の中に、小浜市総合文化祭と旭座上方落語会のパンフレットを配布している。

教育長 10月28日に実施する「授業力アップ」研究発表会について説明する。

本市では、平成21年度から教員の授業力アップ、これからの次代に求められる子どもたちの資質・能力を確実に育てていくため、毎年学校を指定して取り組んでいる。昨年度から2年間かけて小学校と中学校の接続ということも重視した中で、同じ中学校区の小浜小学校と小浜中学校でそれぞれ同じテーマで研究を行っている。発表会当日は、両校で行うため、教育委員の皆様には2校に分かれてご参加いただきたい。

事務局 社会教育委員の会の議長を務められた山下氏が、長年の社会教育委員としての活

動が評価され、本日の東海北陸研修会で表彰された。また、小浜市卓球協会が、今年度の文部科学省の表彰を受けることになり、明日、東京都で表彰される。県内では小浜市卓球協会を含め2団体が表彰される。

4 教育長報告

- ・文部科学省等表彰の受賞について

今ほど事務局から報告のあった本市から1名、1団体の国および東海北陸ブロックの表彰を受けられることになり、大変名誉なことだと思っている。特に、小浜市卓球協会の受賞については、今後の部活動の地域移行を進めていく上でも、大きな弾みになっていくものと期待する

- ・今後の教育施策の方向性等について

最近、大学生の学生生活の送り方がコロナ以前から変化してきている。講義の内容によっては対面による講義を再開しているものもあるが、コロナ禍においてオンラインによる講義が増えてきている。学生は、収録したものを配信する講義では、倍速で視聴しているということを知っている。例えば1日に90分の講義が3コマある場合、本来なら1日かかって視聴する講義が、半日で受講でき、残りの時間をアルバイトや学生自身の研究に充てるという時間の使い方が学生の中で定着している。非常に合理的な考え方がどんどん浸透しており、内容によっては対面講義ではなく、オンラインを希望する学生が増えてきていると知っている。この傾向は、コロナというフィルターを通す中で学生の生活スタイルが大きく変わり、価値観や考え方が変化していると思っている。小学校、中学校のこれからの学校経営を考えていく上での大きなヒントになると思う。

先日、3年ぶりに小学校陸上記録会が開催された。11月には同じく3年ぶりに小・中音楽会が開催される予定となっている。3年ぶりに開催する両大会は、教育委員会と小体連、音楽

研究会との共催でこれまで市の行事として当たり前のように取り組んできたが、コロナ禍の中で過去2年間は実施できなかったということをしっかりと検証するように各学校長にお願いしている。この行事が教育的意義が大きいものであるか、大きいのであればどのような形で取り組むことがよいのか、あるいは代替として、各学校で行う方がよいのかなど、この2年間実施できなかったことで、各学校で工夫をして教育的効果をもたらす行事等を実施していたことを踏まえしっかりと検証していただきたいと思っている。今回開催した陸上記録会は、参加した児童が全員はじめての参加となり、また、運営側では初めてこの行事に携わる教員も多くいたという中で行ったことで、子どもたちはこの行事をどのようにとらえたのかということも検証していく中で重要な観点であると考えている。

関連して部活動の地域移行について、福井市の剣道競技が報道で大きく取り上げられていた。福井市では、県立武道館で剣道連盟の会員など20名以上の指導者により、福井市内の各中学校の剣道部員を一堂に集めて指導しており、保護者からは非常に好意的に受け止められている。半面、剣道以外の競技の部活動はどうなるのかと心配される声がある。地域の実態に合わせて、各競技団体が知恵を絞って、受け入れが可能となるように進めていく方向になっていると感じている。どの競技も同じような取り組みで進めていくという価値観から、パラダイムシフトされていく可能性を秘めていると思っている。それぞれの競技の特性に合わせて、様々な取り組み方が認められていくことも今後は必要ではないかと思う。

上田委員 部活動の地域移行について、総合教育会議で意見交換した以降の本市の取り組みの進捗状況はどうか。

事務局 第1回の検討委員会を開催している。出席者は、スポーツ協会から3名、市PTA連合会から1名、各中学校のPTAから1名、文化協会から2名、両中学校の校長、顧問とオブザーバーとして県保健体育課担当で協議を行った。今回の検討委員会では、部活動の地域移行についての経緯、アンケート調査の結果報告や今後の課題、

スケジュールについて説明した。今後は、第2回、第3回と検討委員会を進めていく中で、来年度4月から休日の部活動を地域に移行できる団体から取り組んでいきたいと考えている。それぞれの種目によって課題があるため、そのあたりを整理しながら取り組んでいきたい。

上田委員 検討委員会の中には、競技団体の関係者は入っていないのか。

事務局 検討委員会には、個別の競技団体の関係者は入っていないが、スポーツ協会の関係者が入っている。また、スポーツ協会には加盟していないクラブチームの関係者には入っていただいている。

教育長 基本的な方向として、来年度から段階的に地域移行を進めていき、地域団体の受け皿の有無に関わらず、令和8年度からは休日の学校部活動は無くしていくということは確認している。令和8年度以降は地域団体の受け皿がない場合でも、学校が休日に部活動受け持つことはないということである。競技によって大会や選手登録などの方法が異なるため、横一線に進めることは非常に困難であり、競技ごとに工夫していただく中で、競技の特性に応じた移行とし、地域団体や保護者がこれを認めていただければ進めることは難しいと考える。これまでは学校がすべてを引き受けていたため、横一線に対応できていたが、地域団体に移行した場合は難しいと思う。この点について、今回の検討委員会で県保健体育課担当者に質問を試みたが、国の方針も示されていないということだった。国から示されることがない中、現場から検討を進めていくことも考えていかなければならないと思う。中体連では、今年度中に来年度以降の大会のあり方を示される予定となっているが、大会そのものも競技の特性があり、これまでの学校部活動を前提とした大会にはならないと思っている。この3年間で、日本のスポーツのあり方も大きく変わっていくと思っている。

上田委員 検討委員会で文化協会から文化部のことについて意見はあったのか。

事務局 文化協会からは、アンケートの中で地域団体に移行することでどのような課題があるかという設問に対して、送迎に課題があるという回答があったことについて質問があった。送迎の課題は時間的な問題、距離的な問題が考えられるが、そのことについて回答したが、それ以外の意見などはなかった。また、今後のこととして運動部については、各競技団体に個別ヒアリングを実施しているが、文化部の受け皿となりうる団体についても、特に吹奏楽部には多くの生徒が入っている現状もあり、個別にヒアリングをしていくことについてお願いした。

5 その他

〈特になし〉

委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委 員 上田俊彦 教育委員

委 員 桂田理津子 教育委員